

科目名	必修/選択	単位数	学年	学科
発展数学 I	選択	2	3	普通科

科目の概要	<p>(1) 基本事項と基本的な考え方の把握に重点を置き、段階的な演習を通して、標準的かつ重要な頻出問題が完全に解けるようになることを目標として入試問題演習に取り組む。</p> <p>(2) 4点を重点事項として、練習・実践問題に取り組み、実力を養成する。</p> <p>①問題の流れを確認し、見通しをもつ。 ②問題解決の方針や時間を意識し、問題を解く。 ③振り返りを行い、課題を発見する。 ④課題克服の方法を考え、次の問題への取り組みにつなげる。</p>
-------	---

教材名	教科書	改訂版 数学 I・A
	副教材	ニューグローバルマーチ I+A+II+B+C 攻略! 共通テストPick Up128 数学 I+A/II+B+C

担当者	宮野 昌彦・加藤 文子・齋藤 晃・埴 守浩・倉俣 達一郎・山本 裕史
-----	------------------------------------

学習到達目標	基本事項と基本的な考え方を把握し、演習を通して入試の標準的かつ重要な頻出問題が完全に解けるようになる。
--------	---

学習方法	問題集「ニューグローバルマーチ」を用いて解説、演習を中心に授業を進めます。できるだけ予習をして、授業に望むことを期待します。学習内容を定着させるために、特に弱点分野については繰り返し取り組んで基礎演習を深めてください。さらに、問題集「共通テスト」「共通テスト対策直前演習」を用いて、見通しをもって問題を解ける力を養うための実践力、対応力を向上させてください。
------	---

評価の方法 及び 評価基準 と 評価規準 ルーブリック		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
	評価方法	定期考査 確認テスト 長期休業明けテスト 授業での取り組み	定期考査 確認テスト 長期休業明けテスト 授業での取り組み	課題の取り組み状況 授業に対する姿勢 テストに向けての取り組み
	A	評価方法の目標に照らして、十分満足できる成果を上げた。 評価値：70～100	評価方法の目標に照らして、十分満足できる成果を上げた。 評価値：70～100	評価方法の目標に照らして、十分満足できる成果を上げた。 評価値：70～100
	B	評価方法の目標に照らして、おおむね満足できる成果を上げた。 評価値：30～69.9	評価方法の目標に照らして、おおむね満足できる成果を上げた。 評価値：30～69.9	評価方法の目標に照らして、おおむね満足できる成果を上げた。 評価値：30～69.9
	C	評価方法の目標に照らして、努力を要する。 評価値：0.0～29.9	評価方法の目標に照らして、努力を要する。 評価値：0.0～29.9	評価方法の目標に照らして、努力を要する。 評価値：0.0～29.9

年 間 学 習 計 画

月	章 ・ 単元	学習内容・目標等	時数	備考 (テスト・講習等)
4	【ニューグローバルマーチ】	1 多項式, 因数分解, 実数	4	
		2 方程式・不等式		
		3 2次関数のグラフと直線		
		4 2次関数の最大・最小		
		5 2次不等式, 2次関数の応用	4	
		6 三角比		
5		7 三角比と計量	4	
		8 空間図形		
		9 標準偏差, 相関係数	4	平常講習
		10 データの読み取り, 仮説検定の考え方		
6		11 集合と命題	4	
		12 場合の数と順列	2	前期中間考査
		13 組合せ	4	平常講習
		14 確率		
7	15 独立試行の確率, 条件付き確率, 期待値	4		
	16 三角形と比			
	17 円の性質	4		
	18 整数の性質(1)		夏期講習	
8	19 18 整数の性質(2)	4		
				前期期末考査
9	【攻略! 共通テスト Pick Up】 第8章 完成問題	完成問題 49～54	6	平常講習
10	【共通テスト対策直前演習】	練習・実戦問題	2	
		練習・実戦問題	2	平常講習
		練習・実戦問題	2	後期期末考査
11		練習・実戦問題	2	平常講習
		練習・実戦問題	2	
12		練習・実践問題	2	平常講習
1		練習・実践問題	2	冬期講習
2		練習・実践問題	2	2次試験対策講習